



かたかご

富士根北中学校学校だより

令和3年6月

(第3号)

「かたかごの心」に生きる子
～よりよい社会を創造できる生徒～



富士根北中の良き校風を確かなものに!

校長 徳川 典宏

5月20日から22日まで、1年生と2年生は自然体験教室、3年生は修学旅行が実施されました。何よりも嬉しかったことは、どちらの行事も皆さんが笑顔で無事に帰ってこれたことです。

私は3年生と一緒に修学旅行に参加させてもらいましたが、様々な場面で友達を思いやる心の優しさと団結力の素晴らしさ、マナーの良さを感じることができ、一緒に過ごす心地よさを何度も実感しました。

1、2年生の自然体験教室では、日を追うごとに生徒が「自分で気付いて、考えて、行動する」姿が多く見られるようになったということを知りました。日々の学校生活の中でも、そのような姿が増えてくれば、誰もが心地よい、バージョンUPされた富士根北中になっていくと確信しました。

修学旅行の振り返りの中に、「集団生活で過ごす時間は、自分だけのものではなく、皆の時間なので、皆が楽しめるような言動を一人一人が心掛けることが大切だと感じました。」「集団生活の中では、他人を、相手を、仲間を思いやることが大切だと思いました。そして、その思いやるということは一人一人が確実にルールを守ることが大切になるということを知りました。」等がありました。この振り返りを見て、この3年生たちなら、自分たちの力で更に素晴らしい仲間、集団に成長してってくれるであろうと確信しました。リーダー学年である3年生の影響は必ず下級生にも浸透するはずです。そして、その良さが「富士根北中の良さ」や「伝統」になっていくはずです。

さて、「その人らしさ」という言葉をよく耳にしますが、「富士根北中らしさ」とか、「富士根北中の良さ」ってなんでしょか。このことについて皆さんが日頃から感じていることを知りたいと思い、アンケートに答えてもらいました。皆さんが感じているベスト5を伝えます。

第1位…挨拶がしっかりできる。

第2位…カタクリ等の自然保護活動が盛ん。

第3位…学年、男女を問わず、生徒同士の仲がよく、団結力がある。

第4位…学校が笑顔と元気に溢れていて明るい雰囲気。

第5位…小中合同の活動が多く地域的にも仲が良い。

その他にも、「地域との交流が盛ん」「先輩たちが優しい」「個性的な先生が多く、授業が楽しい」といった多くの良さが皆さんから出てきました。あと、「運動場に行くまでの階段が多い」「富士山が近くに見える」等もありました。

友達の存在は喜びを倍にし、悲しみを半分にしてくれるものです。気持ちのよい挨拶は皆さんの心を気持ちよくさせてくれます。学ぶことは今の自分を豊かにし、未来を切り拓く力となります。自然は本当の幸せとは何かを教えてください。明るい笑顔は人を美しくし、元気はやる気につながりチャンスを生みます。

ぜひ、これらの富士根北中の良さを皆で共有し合い、更に磨きをかけていきましょう。そうすることにより、これらはやがてよき校風として確かなものになっていきます。

校風とは、そこで学び、生活しているみなさんの姿から伝わってくるメッセージとも言えます。学校に来てくださった様々なお客さんの誰からも、「富士根北中の生徒は仲よく協力できていますね。」とか「挨拶がしっかりできて気持ちいいですね。」といった言葉が必ず出てくるような学校になれば、その校風は本物です。良き校風は皆さんがつくと同時に、良き校風が皆さんを育ててくれます。

富士根北中の良き校風を確かなものにしていくために、共に頑張りましょう!

2年ぶりの宿泊行事実施！

☆5月20(木)～22(土) 3年生の修学旅行、1・2年生の自然体験教室、が行われました。修学旅行は長野・富山方面、自然体験教室は県立焼津青少年の家へ行ってきました。昨年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため宿泊行事が中止となり、生徒たちは残念な思いをしました。それだけに、準備の段階から今回の宿泊行事にかかる思いが伝わってきました。あいにくの天候ではありましたが、多くのことを学ぶことができた3日間でした。

memories

3年生：修学旅行

善光寺



1・2年生：自然体験教室

1年生



2年生

